



一所を打開し万所を開く

令和2年8月31日

【文責】教頭 柳澤 修

□「小さな努力を重ねていく2学期に」=2学期始業式「校長講話」より=□

87日間の2学期が始まりました。生徒のみなさんは、休みからの切り替えもうまくでき、落ち着いたスタートを切ることができました。「真夏から真冬まで」の長い学期になりますが、よろしくお願ひいたします。

8/21(金)に行われた2学期始業式では、学校長より、江戸時代の政治家・朱子学者であった新井白石が、幼少の頃、1日の努力を米1粒に例えて重ねたことを紹介し、「米1粒でも続けていくことで増えていく。最初は変化に気づかないが、努力を重ねれば必ず変化が見える。小さな努力でも重ねていくことが大切」と話し、生徒のがんばりや成長を期待したいという思いが伝えられました。



2学期は長いと言われますが、そんな2学期は自分を伸ばす学期でもあります。自分を伸ばすことに関わって、江戸時代の政治家 新井白石の話をする。白石は有名な政治家になりましたが、子どもの頃は勉強が好きではなく、朝から晩まで友達と遊びまわっていました。そんな白石を見かねて、彼のお父さんがこんな話をしました。「お米がたくさん入った米びつ(お米を入れる木箱)から、一粒の米をとってもお米が減ったかどうかはわからない。けれども1年、2年、3年と毎日一粒ずつ取っていくと、減ったことがわかる。反対に米びつに一粒の米を加えても増えたかどうかはわからない。けれども1年、2年と毎日一粒ずつ加えていくと、増えたことがわかる。勉強や習い事も同じだ。1日だけ勉強したり練習したりしても、すぐに賢くなったり、上手になったりすることはない。反対に1日怠けたからといって、翌日にすぐにわからなくなったり、下手になったりするわけではない。でも、毎日毎日、ほんの少しずつでも努力を続けると、1年後や2年後には、わかるようになり、上手になったこともわかる。逆に毎日少しだけでも怠けていると、気が付いたときには勉強はわからなくなり、下手になってしまっているものだ」というお話です。

自分の目標を立てたら、毎日米1粒の努力を積み重ねていくことが大切です。2学期の目標をしっかりと立て、その達成に向かって自分を伸ばしてみましょう。

【9月の主な予定】

- 9/1(火) 避難訓練
- 9/5(土) 参観日② 情報モラル教育講演会
- 9/6(日) 水泳中南信新人大会
- 9/7(月) 振替休業
- 9/11(金) 発育測定
- 9/19(土) 陸上中南信新人大会
- 9/25(金) 清明祭①
- 9/26(土) 清明祭②
- 9/28(月) 清明祭振替休業
- 9/30(水) 3年総合テスト④

【9/10(木)は登校日です】

年間計画では「教育課程研究協議会」(終日の職員研修会)で休日となっていましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となりました。したがって、9/10(木)は登校日となります。当日、午後は職員研修を行うため、給食あり、14:30完全下校となります。

清明祭の開催と保護者以外の方の入場制限のお願いについて

第49回清明祭が9/25(木)・26(土)に行われます。新型コロナウイルス感染予防対策を行うとともに、プログラム等を変更した上での開催となります。そのため、**清明祭期間中の校内への入場については、保護者のみに**制限させていただきます。保護者以外の方の校内への入場はお控えいただきますよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

日程等の詳細につきましては、後日、学校より保護者の皆様へお伝えいたします。

